

第9回白山市教育委員会会議録

1 日 時 平成28年8月23日(火)

開会 16時

閉会 16時36分

2 場 所 白山市役所本庁舎4階 402会議室

3 出席者

教育長	松井 毅	教育長職務代理者	橋本 外志
委員	水洞 満子	委員	喜多 広司
委員	北田 朋幸		

4 事務局

教育部長	松田 辰夫	教育総務課長	中 英俊
学校教育課長	中村 治郎	生涯学習課長	徳井 孝一
文化財保護課長	高橋 由知	スポーツ課長	東 俊昭
子ども相談室長	新谷 薫	松任図書館長	中村 久昭
松任図書館図書サービス課長	大宮 英幸	美川図書館長	川口 幸寛
鶴来図書館長	中村 泰広	白山恐竜パーク白峰館長	西本 隆

書記職氏名

教育総務課課長補佐	山田 純一	教育総務課庶務係長	河奥 裕子
-----------	-------	-----------	-------

5 案件

議案第24号 平成28年度白山市一般会計補正予算(教育費)について

議案第25号 平成27年度白山市教育委員会事務事業点検評価について

6 議事の経過等 以下のとおり

松井教育長の開議あいさつに続いて、議事録署名委員として水洞委員を指名した。

諸般の報告について、教育部長より教育長が出席された行事の概要について報告した。

■主な行事の概要(H28.7.6~H28.8.22)

- ・7月12日
ボストン町、溧陽市ホームステイ交流派遣団結団式
- ・7月13日
第2回石川縣市町教育長会(金沢市)
- ・7月19日
全国大会出場者激励会
- ・7月21日

退任AL T感謝状贈呈式

- ・ 7月23日
一斉ラジオ体操会
- ・ 7月28日
中体連北信越大会、中部日本吹奏楽コンクール出場激励会
- ・ 7月30日
石川県民体育大会白山市選手団壮行式
- ・ 8月2日
石川県市町教育委員会連合会セミナー（金沢市）
- ・ 8月5日
白山市子ども議会
- ・ 8月6～7日
石川県民体育大会（能美市）
- ・ 8月9日
松任小学校第二体育館完成式
- ・ 8月12日
全国中学校体育大会、ジュニアオリンピック出場者激励会
- ・ 8月17日
石川県へき地教育振興会理事会（金沢市）
- ・ 8月18日
第2回全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会優勝報告会
- ・ 8月20日
石川県民体育大会優秀選手表彰式
- ・ 8月22日
高齢者叙勲伝達式

本日の議題について審議に入り、議案第24号、議案第25号について説明・質疑応答が行われ、原案どおり承認し、閉会した。

【案件の説明および諸報告について】

案件について、事務局より説明・報告し、原案どおり承認された。

【質疑・応答の内容について】

○議案第24号 平成28年度白山市一般会計補正予算（教育費）について

（喜多委員）

小学校教育振興費ですが、指定寄付による備品購入とは具体的にどのようなものですか。また対象校4校の理由を教えてください。

（中村学校教育課長）

4校のうちの1校は旭丘小学校です。PTAのOB会を解散する際に、積立金が4万円ほどあったので、図書購入費に充ててもらえないかという申し出が学校にありました。それを寄付として受け取りました。その他の3校については、三浦町にある株式会社ケイエスディという会社から100万円を教育関係の備品購入費に充ててもらえないかという申し出があり、河内小学校が改築中のこと、その会社が東明小学校区にあること、創業者である社長が広陽小学校の校区の方であるということをお伺いし、こちらで選定をしたこの3校でよいかとお伺いをたて、了承を得ました。備品については、まだ決定ではありませんが、河内小学校については今のところジェットヒーターを、その他については昨年度から備品の購入要望のあった電子黒板などを予定しています。せっかくの寄付金ですので、学校に必要なもの、有効なものを今後検討していきたいと考えています。

○議案第25号 平成27年度白山市教育委員会事務事業点検評価について

(水洞委員)

教育相談事業は、26年度はA評価であったものが、B評価になっているのは不登校が増えたからですか。移動図書館運営事業は、26年度はB評価でしたが、唯一のC評価です。教育委員会(開催)事業も、26年度はA評価ですが、B評価になっています。その評価の違いは何ですか。

(中村学校教育課長)

教育相談事業については、26年度はA評価で「期待を上回る」、27年度はB評価「概ね期待どおり」となっています。相談体制自体は、マイナスになっているとは思っていません。相談員も確保していただいていますし、スクールカウンセラーについてもますます配置していただいていると思っています。ただ水洞委員が言われたように、実態として不登校、不登校傾向の数は、横ばいというよりも増加傾向というのは事実です。学校や家庭を含めたいろいろな要因の中で、それに対応する人員が質も含めて必要でないかと思っています。予算要求の中でも、教育センター専属のソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配置を今後も要望し続けていくべきかと思っています。そういういろいろなことも含めて、B評価と判断いたしました。

(中村松任図書館長)

移動図書館運営事業については、のびのび号で市内の17箇所のサービスステーションを巡回しています。一人につき、図書・紙芝居・雑誌を10点まで借りることができます。市内A B C Dの4コースに分かれて、火曜日と木曜日に巡回をしております。平成26年度と比べて、利用者数が17.4%の減少していることから、C評価としております。その内容としては、Aコースの蝶屋にこここハウス前のステーションで、蝶屋学童クラブが利用していたところが39.4%の減、もう1箇所はBコースの石川小学校前のステーションで、学童クラブが利用していたところが45.9%の減とこの2箇所が大きな減の要因となっています。この原因としては、2箇所ともこれまでは移動図書館が来れば、本を借りるように指導、配慮をしてくれていた先生が代わったことで利用が少なくなっています。今後は学童クラブ等にPRをして、利用が増えるように改善をしていきますので、

ご理解をお願いいたします。

(中教育総務課長)

教育委員会（開催）事業につきましては、平成26年度だけがA評価をしておりまして、これは宮西氏の意見にもありますように、新教育委員会体制への移行に際して教育委員会で協議をしながら進めて行くことができたという前段部分の準備を評価として、平成26年度だけA評価とさせていただきますが、それ以降は通常どおり教育委員会を開催しておりますので、B評価といたしました。

(橋本教育長職務代理者)

感想ですが、教育カウンセラー配置事業、教育相談事業、担当課の自己評価、説明・考察、課題と読ませていただきまして、やはり教育センター専任の臨床心理士の配置とか、あるいは相談体制の充実として、指導員や相談員の増員と書いてあります。改めて課題を見ますと人的な配置が急務だという印象を持ちました。また、総合教育会議などの場で述べていきたいと思いました。もう1点は、白山恐竜パーク白峰管理運営事業についてですが、隣県の福井県立恐竜博物館との差別化を図っていく必要がある。恐らく独自の事業とか企画を計画しているのかと思いますが、福井との違い、そして今後どのような独自の事業を展開していこうとしているのかを教えていただければと思います。

(西本白山恐竜パーク白峰館長)

白山恐竜パーク白峰管理運営事業についてですが、事業の課題としては橋本委員からありましたとおりです。まず組織面では、福井県の方は県立で非常に規模も大きく大々的に県がPRしております。例えば福井駅前とか小松空港にも恐竜模型を配置して大々的にPRしております。それに対して白山恐竜パーク白峰は、元々白峰村が建設し、市町村合併により白山市の所有となりました。平成25年度までは観光施設として運営をしてきました。平成4年度に開業し、当時は年間10万人を超える人が来ていたと聞いておりますが、最近ではどんどん減少し1万5～6千人となっています。25年度以降につきましては、教育施設として管理をしています。今後につきましては、今までの観光としての誘客よりも、子ども達あるいは生涯学習や探検学習などに力を入れており、化石発掘体験やいろいろな団体客に対して化石や恐竜などの地質学的なもの、あるいは最近ではジオパークとの連携もして、学習活動プログラムを作り、説明をするなど多くの方に楽しんでもらっています。今後については、展示の資料や解説も少し古くなってきていますし、施設自体も古くなっていきますので検討しながら、予算要求をして改善をしていきたいと思っています。